

# 「防災・減災教育」～災害から生命を守る意識を高める～

全教科での取り組み		●すべての教科において、防災・減災教育につながる内容を教材化して取り上げ、防災・減災に対して意識を高めたり、自らの生命を守るために主体的に考え行動したりすることができるようにしています。					
国語	書写	社会・地図	算数	理科	生活	家庭	保健
<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災や減災に関わる内容に触れた説明文の教材や、防災や減災について主体的に考えて表現する活動を取り上げ、災害から生命を守るための知識や意識が高まるようにしました。</li> <li>●「目的や形式に合わせて書こう」災害への備えについて調べたり考えたりしたことを、防災ポスターに表して家族に呼びかける学習 →4下 p.124</li> <li>●「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」東日本大震災によって改めて重視されるようになった、人と人とのつながりを大切にしたい町作りについて述べた説明文を読むとともに、ほかの本や資料でも調べて集めた情報を活用し、自分たちの町の未来についてプレゼンテーションする学習 →6年 p.129</li> <li>●「色さいとくらし」消防自動車、火災報知器などには見る人を強く刺激し人目につく赤、非常口や救護室の標識には安心を与える緑が用いられていることに触れた説明文 →4上 p.126</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日常生活や他教科に広がる書写を紹介する際に、防災・減災教育につながる教材を、積極的に設定しました。</li> <li>●「新聞を作ろう」では、新聞の題材を「消ぼう新聞」とし、書写で身につけた技能を生かした防災への取り組みを紹介しました。 →4年 p.34-35</li> <li>●「文字にこめられた思い」を考える教材として、福島の人々の寄せ書きや、東北の野球チームのスローガンなどを取り上げました。震災からの復興を目指す人々の思いを考えられるようにしました。 →6年 p.49</li> <li>●毛筆教材で「きずな」を取り上げ、協同して防災などに取り組むことの必要性を考えられるようにしました。 →5年 p.14-15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年と地図帳で、防災教育に関連した教材を掲載しました。</li> <li>●3・4年では、「地震からくらしを守る」の小単元を新設し、公助、共助、自助の流れで地域における防災の取り組みを提示しました。 →3・4下 p.20-33</li> <li>●5年の防災に関わる小単元「自然災害を防ぐ」では、導入で東日本大震災を取り上げたほか、公助、共助、自助の流れで国や地域における防災の取り組みを学習できるようにしました。 →5下 p.128-137</li> <li>●6年「震災復興の願いを実現する政治」では、東日本大震災後の復旧・復興における国や自治体等の取り組みを取り上げました。 →6下 p.18-28</li> <li>●地図帳では、巻末折込で「日本の自然災害」の特設ページを設けました。 →p.89-91</li> <li>●発展・補助教材においても、防災に関わる事例を積極的に取り上げました。</li> <li>●「風水害からくらしを守る」 →3・4下 p.34-37</li> <li>●「社会を変える情報-防災と情報化-」 →5下 p.90-91</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・減災教育につながる場面を取り扱い、防災・減災を意識し寄与しようとする態度を養えるようにしました。</li> <li>●身の回りにある四角形として、非常口を示すマークを取り上げました。 →2上 p.102</li> <li>●広域避難場所が掲載されている絵地図から、長さを求める学習を取り上げました。 →3上 p.32</li> <li>●安全マップをつくるために、危険の可能性のある場所を町ごとに調べた表を考察する活動を取り上げました。 →4上 p.18</li> <li>●家から避難所までの道のりについて、歩幅を使って調べる活動や、速さと道のりから、かかった時間を求める活動を取り上げました。 →5下 p.8, 6年 p.118</li> <li>●「算数の目で見てみよう～震災の経験を生かそう」では、宮城県仙台市が行った、今後の防災対策に生かすためのアンケートの結果を考察する課題を取り上げました。 →6年 p.120-121</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・減災への意識を高め、日頃の取り組みや生命を守るための行動などについて考えることができるようにしました。</li> <li>●防災・減災への取り組みとして、以下の事柄を紹介しました。 ＜大雨による災害＞ ■気象情報の活用 ■ハザードマップ ■堤防やダム工夫 →5年 p.16, 68, 84-85 ＜地震による災害＞ ■緊急地震速報 ■津波の高さを示す標識 ■耐震補強工事が施された学校 ■過去の記録に学ぶこと →6年 p.126-127</li> <li>●生命を守るための行動について考えることができるようにしました。 →5年 p.67-68, p.83-85, 6年 p.124-129</li> <li>●「理科室の使い方」では、地震の際の対応にもふれました。 →4年 p.178-179, 5年 p.160-161, 6年 p.200</li> <li>●災害だけでなく、もたらされる恩恵にもふれることができるようにしました。 →5年 p.69, 6年 p.128-129</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が自ら、安全に気を付けて行動できるよう、防災・安全に関わる学習活動や資料を豊富に掲載しました。</li> <li>●さまざまな標識やマーク →上 p.21, 22, 95, 下 p.8, 31 等</li> <li>●「おはしも」 →上 p.112, 下 p.105</li> <li>●災害時の安全な行動を身に付けるための資料 →上 p.20-21, 112-113, 下 p.104-105</li> <li>●べんりてちよう「あんぜんにきをつけよう けんこうにくらそう」 →上 p.112-113, 下 p.104-105</li> <li>●家庭と連携して、児童の安全を守ることができるよう、家の人と、自分の通学路の安全を確かめたり、災害発生時の行動について確認したりする学習活動を設けました。</li> <li>●「いへのひととつうがくろをあるこう」→上 p.21</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習した内容は、少し視点を変えるだけで、防災や災害時に十分役立つことを、特集で紹介しました。</li> <li>●ふだんの生活から災害に備えて準備できることを伝えるために、「日々の備え」の特集を設けました。「針と糸」→p.24 「なべでたくご飯」→p.31 「整理・整とん」→p.51 「家族で防災会議」 →p.81</li> <li>●防災への意識の大切さや、人と協力することの大切さを伝える教材として、東日本大震災の被災地の小学生の取り組みや、思いを掲載しました。「人々をはげます『ファイト新聞』編集部のみなさんのお話」→p.109</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身の回りの危険に気付き、的確な判断の下に、安全に行動できる児童を育成するため、資料の充実を図りました。</li> <li>●5・6年「けがの防止」で防災・減災について課題解決的に学習する「自然災害によるけがの防止」(発展的な学習)を新設しました。</li> <li>●「自然災害によるけがの防止」では、地震を例に、自然災害による危険を予測し、防災・減災の手立てを考えさせることで、主体的に行動できる子どもを育成できるようにしました。 →5・6年 p.22-23</li> <li>●地震以外の自然災害(大雨、大雪、火山噴火)も取り上げました。 →5・6年 p.26</li> <li>●「防災安全マップ」を作成する際の視点を紹介しました。 →5・6年 p.27</li> <li>●「外で遊ぶときに注意すること」として、災害発生時の安全確保に関する内容を扱いました。 →3・4年 p.29</li> </ul>